

別記様式

		担当課	総合政策課
会議の名称	令和5年度 第2回鴻巣市総合教育会議		
開催日	令和6年2月13日(火)		
開催時間	午後1時15分 開会 ・ 午後1時50分 閉会		
開催場所	鴻巣市役所本庁舎 302会議室		
議長氏名	鴻巣市長 並木 正年		
出席者(委員)氏名 (出席者数)	鴻巣市長 並木 正年 【教育委員会】 教育長 望月 栄 教育長職務代理者 加藤 幸弘 委員 坂本 孝子 委員 齊藤 敬 委員 太田 恭子 (6名)		
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	なし		
執行部及び事務局 職員職氏名	【市長部局】 市長政策室長 藤崎 秀也 市長政策室副室長 沼上 勝 こども未来部長 小林 宣也 こども未来部副部長 佐々木 晴美 【教育委員会】 教育部長 齊藤 隆志 教育部参与 上岡 勝 教育総務課長 松本 直樹 【事務局】 総合政策課長 富田 真久 総合政策課主査 齋藤 則考		
傍聴の可否 (傍聴者数)	可 (0名)		
会議の内容	(テーマ) 1 川里地域の小中一貫教育校の新設について (決定事項など) 内容1については、「川里地域小中一貫教育校整備に関する基本構想・基本計画の検討資料」を用いて、今現在の進捗も踏まえて、ほぼ最終段階に入ってきている基本構想や基本計画の策定について事務局から説明があり、次のような意見交換がされた。 ○基本構想や基本計画を今後地域の方々にどうやって示していくのか →懇話会や説明会にて、丁寧に説明をしながら、地域の人々の声を実際に聞いて、設計等に反映したいと考えている。 ○過去に実施したワークショップでの具体的な意見を教えてほしい →未就学児の保護者や在校生、自治会長からは、回を重ねるごとに、新設に前向きな意見が強くなってきた。また、川里地域に建設する新たな学校につ		

	<p>いて、皆さんのイメージが膨らみ、義務教育の学校ではあるが、選ばれる学校作りを目指してほしいというような声もあった。</p> <p>○横浜市の義務教育学校へ視察に行ったときの印象は →校長先生が1人、准校長が1人、副校長が2人というような管理職の体制の中、前期課程と後期課程の教職員の職員室が1つで、連携をとっている姿がとても印象的だった。また、1年生から9年生というと、かなりの年齢幅があるが、9年生の生徒が前期課程の児童をよく面倒見ていたり、逆に、前期課程の子どもたちは、後期課程の生徒さんたちを追うような形でいくという関係がとてもよいと感じた。施設的にも義務教育学校なので、前期課程と後期課程の行き来が自由にできることもメリットである。</p> <p>○建物の建設やスケジュールも大事だが、もっと大事なものは教員である。教員の育成にも力を入れてほしい →管理職についてはある程度先までの計画がありますが、一般教職員については今後検討していく。</p> <p>○当初は令和10年に開校する予定だったが、それが3年延長されるというスケジュールは、市民の皆さんにいつ周知する予定か →今回の基本構想・基本計画の中でスケジュールを示すため、令和6年度には公表することとなる。</p> <p>(その他)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 常光放課後児童クラブの運営について →資料のとおり報告し、意見等は特になし 2 こども家庭センターの設置について →資料のとおり報告し、意見等は特になし 3 笠原小学校跡地利活用について →資料のとおり報告し、意見等は特になし
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 第2回鴻巣市総合教育会議 次第 ・川里地域小中一貫教育校整備に関する基本構想・基本計画の検討資料 ・令和6年度 放課後児童クラブ開室予定表 ・鴻巣市こども家庭センター「ここの巣」の設置について ・旧笠原小学校跡地利活用について

注 会議の内容の欄は、主な意見や質疑内容を交えて概要を記入し、記入事項が多い場合は、別紙に記入するものとする。